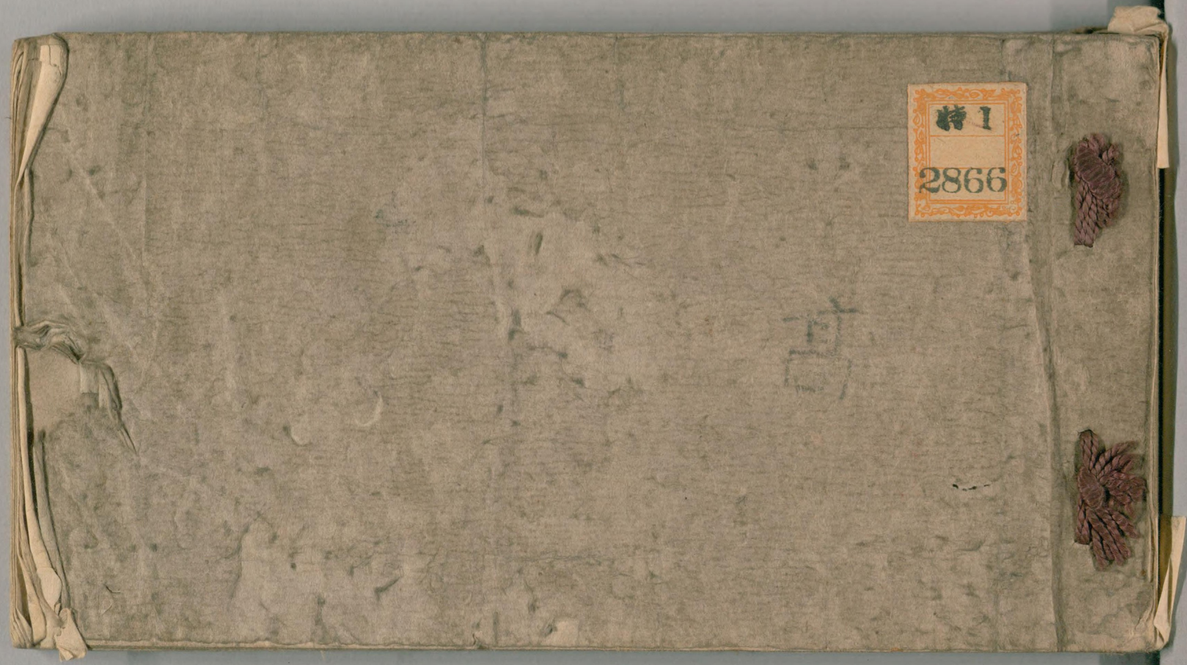
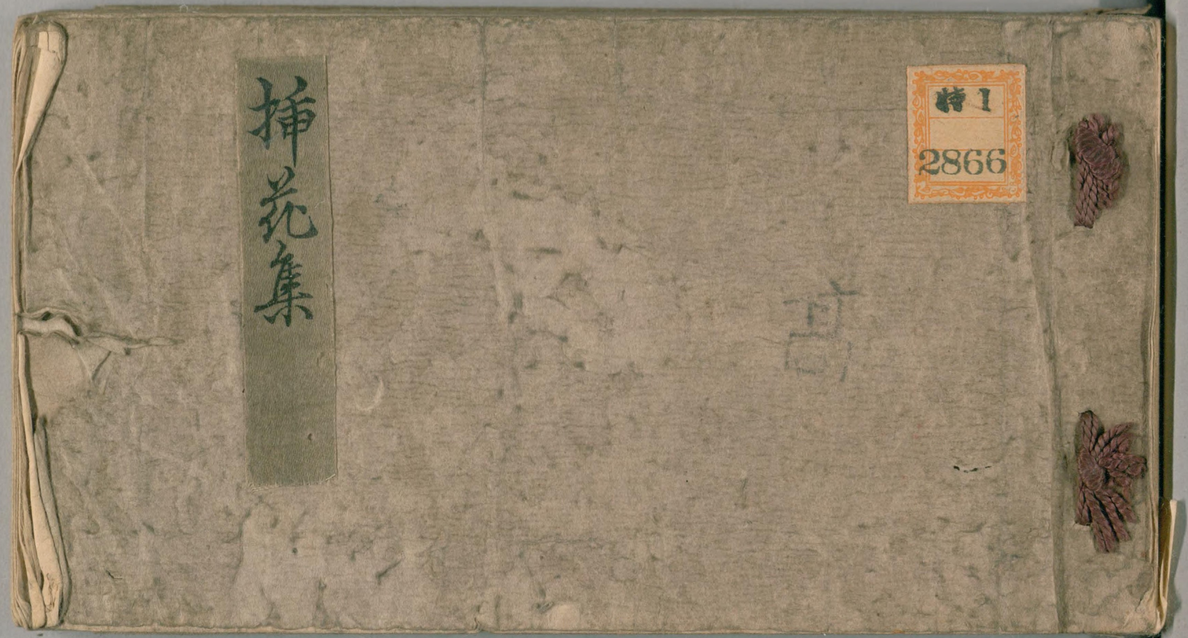
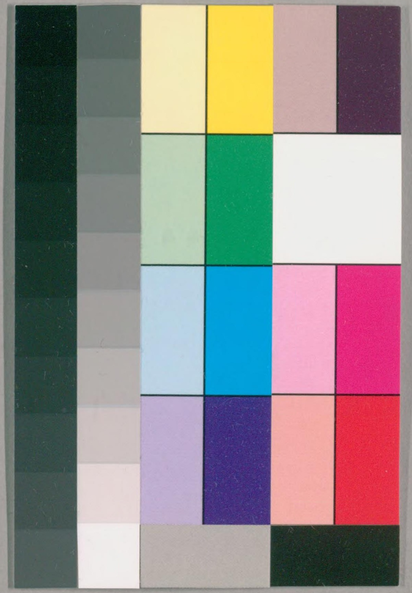


国立国会図書館　タイトル『茶席挿花集』 請求記号 特1-2866

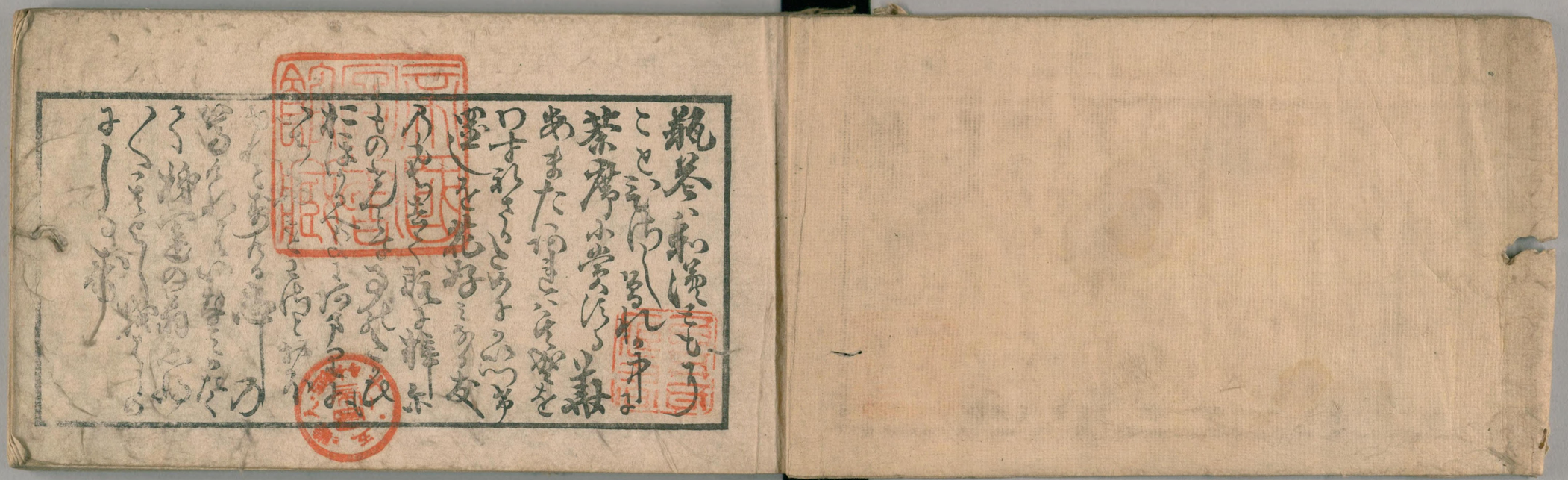
ガラス使用





国立国会図書館　タイトル『茶席挿花集』　請求記号 特1-2866

ガラス使用　挟み込み物



国立国会図書館　タイトル『茶席挿花集』　請求記号 特1-2866

ガラス使用

特1
2866

凡例

一四季の花を十二の月次分けていへる事を暖地の陰陽ありて一概にすべからざる時の花を記すべし其月と花の月違の月とを一候あるべし三月のうちにうつしてときの花をいけるべし時候おくれて花すくなき処あれば当月をうつしてハつくさざるべし

一花のつづくにて用ゐる事明らかに月次にあらざる事を月ごとに出す仰一例とハ事例のみえ花ごとにしてかきまぎらはしからぬ為也

一前月の花の咲残りて有べきハ又名月の名の下に書す仰一普通の花ごとにあるをいふ

一かきつばたを二月より出すといへども凡吾にく愛する花なれバ四月の部に挙あれを三月下旬凡吾ふとけくようるいけくるべし　水仙ハ秋より咲れども十月の頃炉よりつけべき花ありてもその月の部に出せり花も九月末より炉と

そろへかいけそうしられるべし世上ゆくなきものなれどもそのくるまゝ

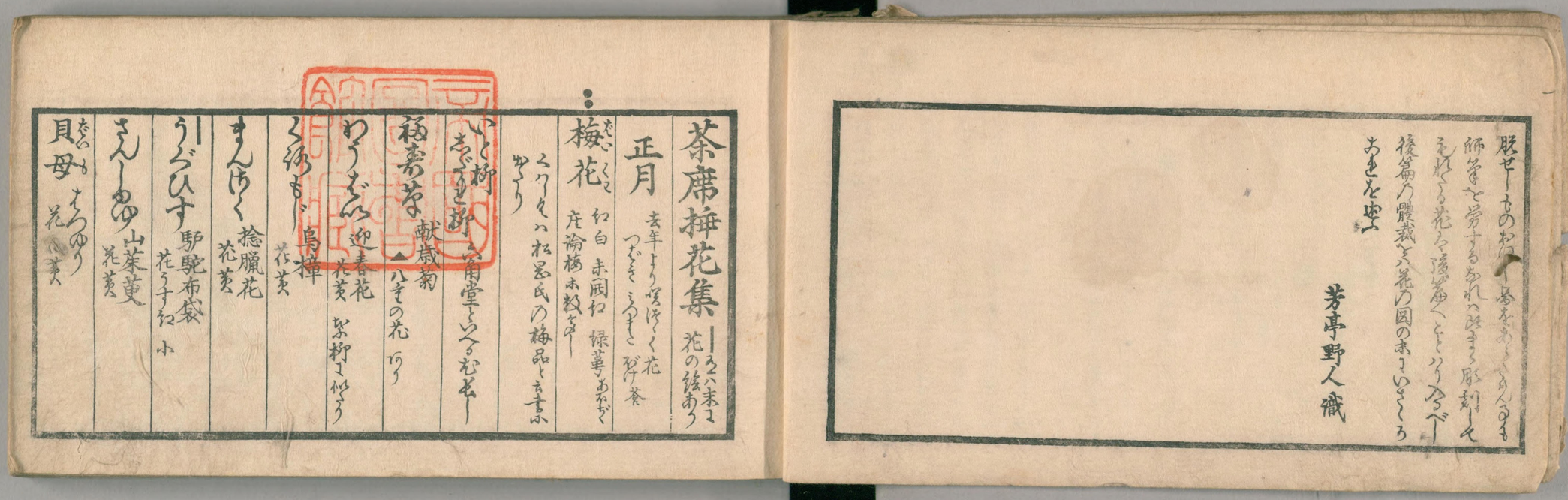
一茶家ハもちぬく愛する花ハ上に●点をくわへ其中にをもに愛ける八●のごとく

一半点を添ゑ又大に愛する八●重点を付く又名物の花そも珍花八有名と同位の花をあるべしされど茶家にてそのひくむべき花をもゆるすまじきことなれる花ありても差出ざるよくまた同じつぼみまでとてくるまきを愛するを常れあり

一此書佳気園翁の集めしれを予又岩附灌園先生に請て漢名と平仮名を刪定補入せ給れそも翁の初学をも残せるをのみ一具の草木其名あまこめゆゑ其ほれ出ぬ花の名を花も

一巻の末に出せる花の如ハ稀く珍花とまにもうゑべき花店ゆも常ならく茶席にそまれるゆゑ巻末に別灌園師の画を先仏もて後人の為に出すべきを花戒

国立国会図書館　タイトル『茶席挿花集』　請求記号 特1-2866
ガラス使用



茶席挿花集 一名ハ未ご花の後あり

正月

梅花 ばいくわ 白 未開ノ 緑萼 あおがく 庭前梅木数本

ふくじゅ松 景氏の梅品と云書ニ出ル

やぶ柳 やぶやなぎ 一名ハ未ご花の後あり

福寿草 ふくじゅそう 献歳菊 八重の花 ▲

わうばい 迎春花 花黄 架柳と似ル

くちなし 梔子 花黄

まんりく 捻臓花 花黄

うづひす 駅駝布袋 花うす紅 小

さんしゅゆ 山茱萸 花黄

貝母 ばいも 花黄

芳亭野人識

国立国会図書館　タイトル『茶席挿花集』　請求記号 特1-2866

ガラス使用

白木蓮　玉蘭　花白

まんぎやう　連翹　花黄　わらのもの

菜の花　月上

なでしこ　撫節花　花黄小く穂をなす

二月　弥月より咲のる花　梅つばき　もんぎやうを亦略す

ぢんこう檀子　花赤　つばきを用

がけ　木瓜　花白紅まじる　俳名　さゝら　胡蘇　海棠が名ホ　を亦略メ

こぶし　辛夷　花白

ひめこぶし　千葉辛夷　ざいふり　花白　こぶしよりふ

みづき　花ごく黄　土佐ぐみ　花小し

ぶんご梅　花紅　蕊を用ゆ

紫木蓮　木蘭　花淡紫　ひきたるハ常用

あんず杏花　花紅

むべ　郁子　花紫

桃花　花紅白　俳諧　源平八重千original　碧桃　白のおてふきこ　あんずう　渓通　ももを亦略メ

李花　花白　こまこ

やまぶき　蒲公英　大ぶんを用　白もあり　白鼓子

さくら　南殿　きうぐう　俳桜　おきぎ　普賢像　ふげんざう　楊貴妃　ようきひ　えべ桜　彼岸桜　ひがんざくら　これも右の桜ふやうにくりかへす

あしの花　梨花　花白くごく小し

国立国会図書館　タイトル『茶席挿花集』　請求記号 特1-2866

ガラス使用

山なし　鹿梨
花なし　氏　花白紅まじ

海棠　花紅
（かいどう）　性すき胡粧をぶれ水枝ふあり

まんど林檎
花うすれ

小まんど棠梨
花うすれ

まるめろ　榲桲
花うすれ

くさりん　榠樝
（かりん）　花うすれ　つぼハ深紅
めいさ　氏

ゆすら　櫻桃
花白くうるし

ふハ梅　郁李
花紅白文也

ふハさくら　千葉郁李
花うすれ小

あぜみ　馬酔木　花白くふ
鈴のごとくにて枝さがる

花すおう　紫荊
花むらさき

うこぎ　車前葉山慈姑
花うすれ

二

名にしだ　金雀花
花黄

みつばつゝじ　花白　躑躅
氏

ぢんと花　紋草
花うすれ

ほとゝぎす　狗舌草　花黄
氏　ちがまんてんくさ

ふさの花　款冬花
花細うす黄

大根の花　蘿蔔
（だいこん）　花白うす紫を黄

むすめくさ大根
花あり

ゆめ　蠶豆
花白くかしまこあり

きぬさゝぎ　泥胡菜
花うすむらさき

かうまつ茅　花白一
茎ふもあり

十二ひとえ　夏枯草
花白

うんせんくさ　金盞花
花のがた

国立国会図書館　タイトル『茶席挿花集』　請求記号 特1-2866

ガラス使用

春蘭 つゆ うんのでくにてみどし
三四月まで咲く

ぎぼうし 筒蔦
花白実

長春花 四季に花つくゆへ此名あり
白花長き
狩て長き 花紅ひくし
花紅 数品有

やまぶき 棣棠 ▲八重ハ三月へ入てさく

白山ぶき 棣棠の白花也
又同名あり三月一出ス

茅やまぶき 石芽
花黄

三月 桃櫻梨林檎

八重櫻 数品あり
つぼみを用ゆ

いぬ櫻 花白くさし

むさしあぶみ 由跋 香草に似り
花紫

うはみづ櫻 花白く穂をなす

なでしこ 撫子 績断
こもそう 草ヒ 花白少紅

ときわなでしこ 玫瑰花 花紫紅
▲白花あり

いばら 荊 薔薇 ヒ 花紅白紫大小葉共ニ形を
▲かうそばら 一重花白
▲はまなし 花八重花白

黄(き)いばら 花黄 香気(八重)あり
▲もっけいばら

ささまん蔓 費菜
花黄 ごまの

菊いばら 除蘿 ヒ 花白
こやすき

木香花 庵より渡る いばらの仲間
花白 香ひよし

てまり 繍毬花
花白

小てまり 麻葉繍毬
花白

ぎぼうし 玉簪
花白 二種之

国立国会図書館　タイトル『茶席挿花集』　請求記号 特1-2866

ガラス使用

さるまぬじ　芫花
花紫

ふうろん　白茅　花紫紅
▲白花しろ

ふんじん　葉くりんじん
胡蘿蔔　花白小

ほせんもん　紫雲葉
花ふかき色

春すが　百合　ゆり　枝ぶりを見時をきめ
吟ずる紅黄おおし

天南星　てんなんしょう　花白一又紫あり
おふこんにゃくの葉ふう似

ちゃのき　蝴蝶花　花白
▲ひおうぎ　花小

いちやくそう　蛇蔓
花紫又白

おざみ紀蓼　穂斗菜
花ふかし又白花あり
角かさと▲八重ありさまざまさとり又
花ふかし

放下僧　ほうかそう
花ふかし

ふびね　偕老根　花黄白
葉ちりんに似

みそはぎ　及己
花白一

せんだい萩　野交明
花ふかし
このこ草　和ノ野甘松
花ふかし

金絲梅　きんしばい　花黄

金絲桃　きんしとう　未央柳びよういやなぎ
花黄ふかし　柳ノごとし

ふんどう　豌豆
花白又ふかし

むれもどき　壜薔花
花黄

かんがく　山欒樹
花白　かく葉に似ふ

ちょろぎ　草石蠶　花白
▲いぬちょろぎ　花黄紅

ぎぼうし　花ふかし　紫と学
又白花の八重あり

丁子草　ちょうじそう　花小ふかし
四月まきふく

いちご　覆盆子
花白小　おおあり

国立国会図書館　タイトル『茶席挿花集』　請求記号 特1-2866

ガラス使用

いつき 羊婆奶 花白
山ぐハ 正 のぐハ 正

白根菊 佛子草 花黄葉
くろくさ わとけまも

かつせおとこ 紫羅蘭花
花紫紅

やぶてまり 聚八仙 花白
四五月まで咲く

香ひめゆり 山慈姑
花

いるま草 溜羊霍
花紅

藤にうつぎ 錦帯花
花紅

栃ぐさ草 蔓豆菜 花白 栃に似
そでのあき 葉為頂生ス

あざみ 薊花
花紅と白

日光のあざみ 天竺あざみ ちあまりさとホ
おなじ ▲黄花あり

けまんぐさ 荷包牡丹
花紅

白やまぶき 花ひとえに似て
枝ふさ実あり

五

ふくん菊 八十八夜菊 正
花黄紅白あり

萎蕤 うすもの
花白 取跡のよし

赤もつけ 緋線菊
▲岩もつけ

紅志もつ草 咲初紅にて後紫あり

ざぼし 紫萼 花こき紫
白花と白萼とあり

梅じ 紫藤
▲白花

むめもどき 胡豆
花紅ト白あり

牡丹 行年 地錦抄ニくろしくさつ
花ハ紅白ちがひあり

ざくろ 石榴花
花ハ紅白ちがひあり

さるま蘭 老ひとり草
花紫

御柳 三春柳 正 一年に二度さく
花こき紫

あつもり草 花紅白

国立国会図書館　タイトル『茶席挿花集』　請求記号 特1-2866
ガラス使用

四月

芍薬 牡丹 石楠

きりの花 桐花 花うす紫

鉄線花 ▲八重も菊ぞうとも 花うす紫

かざぐるま 鉄線蓮 又えりん 八重も 花ろう

のうぜんぞう 凌霄花 花だいだい 毒あり

うの花 うつぎ ▲山川うつぎ ▲ふさ咲うつぎ

小うつぎ 花白

百合 花形各々 ▲ちりぬ咲り 花白く大

紅すゝしゆり 夜合 花近代殊外 ▲夏すかし

料理ゆり 天香百合 花白大赤点あり

鬼ゆり 巻丹 常食用のゆり 花赤だみ

たもとゆり 麝香百合 花白 香うし 赤まれ

五月

琉球ゆり 一名かのこゆり 花うす紅赤点ろ

峯ゆき 同花の白と云

そわそわゆり 花黄白にてうす赤点ろ ▲竹酒ゆり 花黄

ひめゆり 山丹 ▲黄花ひめゆり

かるかやゆり 黄精 花白小ぶさの左右にさがる

けしの花 罌粟 往昔多し 紅白八重一重さまざまあり

虞美人草 けし数ふ 花紅白

くちなし 大巣菜 花細小紫

なのゆき 花白

あいもち なつもち 花白

馬簾 ばりねじあやめ 花紫 ▲釜山せうぶ

ゆうの木 商州厚朴つぼみと用ゆ 花白木蓮ず似て香うし

国立国会図書館　タイトル『茶席挿花集』　請求記号 特1-2866

ガラス使用

芍薬　種類多し　地錦抄ふくりん出　紅白八重一重ともにあり

山芍薬　山地より花を望むと云　花一重之

夏菊　類甚多きゆえ略す　花の小なるを用ゆ

山どりう　南陸　花こまかに穂ていをそ白

かきつばた　燕子花　あやめ

▲わの尾　紫色ふち入り　▲かれぼな　枯枝色々大小あり

▲大八橋　大さまん　▲むらくも　紫色ふち入　子葉に紫のふち入

▲雅落　白に紫のふち入　子葉ともに入　すじなしもあり

とつさう花　探春花　わすれ草　花小　黄色

山雲木　玉鈴花　花白ふくらに穂ていをおび

夏ゑびね　ゑび科の性にけいしゅ

高良姜　花紅　穂ていをなす

ぢさやの木　齊墩樹　花白

麦門冬　花紫　穂ていをなす

石竹　雛麦　移植をきらゆえ略す　かでしこ

あふひ　蜀葵　花和白紫色々多し

蘭に花　紅花　花黄赤

おぢさん　紫陽花　花八重ま緑色ふち用

ぐん　勢春躍　花赤　菊夏躍花

知母　すいせん　花紫

さるそうばう　雲實　花黄

白丁花　花茶席おいけばなにも　実すゝきの穂を又紅花葛紫ともに此枝ものにもあり

さんざし　山査子　花白

南さんざし　棠毬　花白

国立国会図書館　タイトル『茶席挿花集』　請求記号 特1-2866

ガラス使用

ふやら　夏つばき　花白
沙羅双樹

きぐらん　花白

つるてまり　藤繍毬
花白

がまずみ　莢蒾　花白

すいかづら　忍冬
花黄ト白まだら

金銀木　花すいかづらの如くして花淡紅
すいかづらに別也

美人蕉　花淡紅

ひるさき草　紫草
花白

ねむの木　花白

くりんさう　萱草
花黄

常夏
ひめなでしこ
ゆかもかうべ
なでしこ

きすげ　金萱ノ一種　花黄
▲日光さす

節庭花　花黄

大山まんの　天女花　花白しべ黄
紅ぐ紫しべあり

そこねうつぎ　十姉妹
花紅白まだら

ぶらうねん　立泉花
花黄

佛桑花　花淡紅あり

五月　百合　かさらん
大山まんの

花あやめ　紫羅蘭
花紫又白ふち取もの

花せうが　花あやめの如く数多
咲てしぶめあり

扇菖花　花ハ白色にて茎ハひあぎの如くうち広ひらめあり

白ぎくろ　氷晶石楠
つねに白ようはなし

萍蓬草
花黄又黄紅心紅あり
▲紅花うすし

ふうろ草 花紫
又白花あり

沢瀉 花小白
▲八重沢瀉

旋花 花うす紅
▲濱旋花

牽牛子
種子薬用
▲白花

蛾眉豆
又扁豆 花白うす紅 二色

絲瓜
花黄

刀豆
花白 みじかし

射干
花黄
紅ひおうぎ 花赤
もみのしま花黄ふち
大坂ひおうぎ もものやうにて赤ふち
つねのひおうぎ

棟花
花うす紫

浮萍 花うす紫
又白花あり

滁州夏枯草 花紫
▲白花

水蔓菁
花うす紫 細葉

星宿菜
花白

うらね尾のごし
花うす紫

山小菜
花紅と白あり

黄芪
花うす黄 すべて莢になる

薇衝
花黄

牡丹
花紅

薤白
花黄

張良草
そこ名のみにて
茎のみあり

さくり　花白中うのこころ
おいけのやう

くちなし　梔子花
花白
八そうもろれ
唐くちなし　中りそまおこ

ほうろもろれ　花白
丁まうぐ〳〵ニ

せんのく　剪秋羅
花紅白さき〳〵ゟ

松かせんかう　又果敢そのー
くりく姫紗絣ようる

夏くれ　觀音菊
花紫　杜鵑ようの枝ひ〳〵

よそおめ　花白

なでしこ　花紅
ようこんま

れんげ　雁爪　花黄小
連翹のごと〳〵

のこぎり草　蕎
ごんきやニ　花白ようす紅

たかね草　花紫

そもちす　木槿花
むくげニ　紅白紫八そうろうとかや
そとべに　花白肉あを紅ちらし咲
そもちすようにそもちすを咲せ一ぱいに開
ようてまたちようあるこれ下ノすとを
そぶきー言ふ

はまおもう　黄櫨
花黄　そもちすの歌ニ

やぶめうが　草牛草　花白こまそう
なめくがのやー

だんだく　蘭蕉　茎ようる紙てゝ小
花紅　葉花あり

ほうく草　紅素馨
花紅白あり七月ゟ作

かりやす　玉簪
うるこねやう

らん菊　六月菊　花ろう
服生菊のごと〳〵

ごようやー　ひめくやー小ニ
花紫

孫むら花合歓　花すゝ紅
わらぐさニ　あのやー

国立国会図書館　タイトル『茶席挿花集』　請求記号 特1-2866
ガラス使用

六月 かろさ ろくすい あふひ

蓮 れん 白蓮 ▲天竺蓮 ▲つま紅 白蓮 ▲夜蓮

花めうが 山姜 花紅 ふくく仏

つゆくさ 鴨跖草 ▲白花 月草 花ろう あさんて油を用

茉莉 まつり 花白 香ひる

かるかや ほべ木 花白 ろうそく仏

ムクロジ 花ろう紅

うさぎらん やぶ蘭 つる花 花紫

秋海棠 しうかいだう 花紅 八月まで咲く

威霊仙 いれいせん 花ろう白 ろの凡乃めい

むとぎり草 小連翹 ▲大おとぎり 神草 花黄

十一

黄芩 おうごん 花ろう みそ萩す仏

くさぎの花 花が枝に付ろう

ねじ花 鉄掃帚 花小紫 めどとぎ

みそはぎ 千屈菜 花細小紫

根蔵花 野西瓜苗 花ろう黄 胡つめ草 中八重紅

沢桔梗 さわぎきやう 山梗菜 花ろう 深みそはぎ仏付

むさしあぶみ 春八重白さゆきあり 花ろう紫

ちりんざ水仙 月下香 花白

桔梗 花ろう白 きちかう

ちょろぎ 敗将苗 花白 花ごへ一白

百日紅 さるすべり 花紅

千日紅 花紅白 又うす紅あり

国立国会図書館　タイトル『茶席挿花集』　請求記号 特1-2866

ガラス使用

七月 ななつき 桔梗 秋海棠

ふぢばかま 蘭草 花紫白

くず花 葛花 花うす紅

ごけ午花 夜落金銭 花紅

やつで草 桔梗ノ似テ小 花ふぢ色

澤蘭 花白

おみなへし 紫茉莉 花紅白黄ノ三ツアリ 夕ニシボム 花ハ朝ヨリ昼マデ咲

益母 花ハ麻ノ如シ 花白ニテ紫

わさび花 木綿花 花黄

あけびの葉 獨活葉 花白

雞頭 ケイトウ 葉ハ汁ヲ用ユ 花白 ▲花ノ下ニ葉ノ如キ紅白アリ

青箱 花うす紅

ちくしの草 鴨葱 花白ノ如ク穂ヲナス

紅黄草 藤菊 花黄ノ

さねぶ草 花白 四月ノ末ニアリ

ぬれもみぢ 地楡 花淡紅ト白 ▲ちくしの草ニ似タル地楡

松むし草 玉毬花 花ノ下ノ如ク

せんぐさの葉 金糸草ニテ似ル 花紅白二種

だん菊 花紫ト白アリ

いしみかは つるなし ヲ煎ジテ飲ム うしのひたひ 花白ク下ノ如シ

茴香 花黄 葉糸ノ如クニシテ香ヒアリ

ぬかご蘭 花むらさき

ふうろそう 羊乳根 つるくさ 花紫 根ハ人参ノ如クニシテ

国立国会図書館　タイトル『茶席挿花集』　請求記号 特1-2866

ガラス使用

萩　胡枝花　花紫
白萩
さらさ　花紫白まだら
▲えぞ萩の野萩あり　花ちいさくやはらかに
ひろえぞ萩ともゆふ
▲しろはぎ　花雅ともゆふ

とぐるま　旋覆花　花黄　八月又千本ぶかり

たでこの花　畑草　花うす紅

そくづ　葫蕨　花白ー　側豆に　八九月までさく

おとぎばな　油點草　花紫白交　茎蛭のごとし

▲さはとうばな　花赤
▲山ほとゝぎす　まだらさく茎に丸ふさ

花蘭　秋あびれに　花うす紫
此草よかりくるゐ数多ー

つるまめ　沙參　花紫白　形沙參に似ー

ちゑ沙參　花紫

かるかや　青蒿　花黄　細小　茎よりえだに付せまりー

そばぐさ　花白

志ぐん　紫苑　花うす紫
小志ぐん
大坂志ぐん　茎立ぶくー
白菀もくゑ　花白ー

八月　萩

八朔梅　花うす紅

秋すま　香茶菜　花ろう
きうつがに

ふようう　木芙蓉　花紅白うす紅あり
▲八すふようう

かるかや　燕麥　花八穂と茎すゝ

らん花　建蘭
つるのらんなるさう用ゆ

いたどり　虎杖　花白と紅あり

おとすすき　穂のすこしさると用
くず初より八穂ありさきまで

たびらの菊　花うす紫
みてぐさ　まるまま菊に

国立国会図書館　タイトル『茶席挿花集』　請求記号 特1-2866
ガラス使用

ぎやう茎　麝草　花うす紫
いねそ　馬蓼　花紅
大ねそ　紅草　花紅
さゝなで　蟹蘭草　花うす紅
みくり草　花小白　枝葉ともに珍
ひごあふひ　平江帯　花うす紅
▲もりひごあふひ　花小
泥ふさぎ　花白
あつぎ草　升麻　花うすの尾ト似て白し
ねいもさ　升麻ノ類　花白
たつこあふひ　花黄　葉大
前胡　山ぜり　花紫黒又白花あり
尾ぐれ　苣　葉ちゝみ

都管草　花白
紺菊　馬蘭　花紫
のぎく　難児腸　花うす紫
よめな　
▲紅花
▲白花
そば　蕎麦　花白
秋あざみ　花紅ト白又うす紫あり
ほうこんぎく　鳳仙花ノ類　花黄又白紫色
あおノ花　藍花　花紅　小粒ニて実に葵ノ如く九実ノ二稜あり
みぶもさ　金線草　花紅赤
▲白ハ　ひさ　銀線草
ふぞろぎく　花紫紅白あり　ふぞろふうなるゆへ
黄蜀葵　花黄

のぶどぎく 草烏頭 花落ル 茨菰ニ 花白 附子

うけら 白朮ニ 花白

唐ゑぞ 唐白朮 花うす紅

吏君子 花紅

つるむらさき 落葵 花うす紅

紫含 かうまつ草乃紫花ニ

ちうめうぎく 花紫紅 菊ニ似テ 秋かうん 架牡丹のごとし

鬱金 花白

雁來紅 紅紫苋ニ似テ 花のそくいもの ニ用

雁來黄 のごとく苋ニ似テ 黄ニ

萹蓄 なぶるまき 稲子ニ似テ 紅ニ そくいものニ

九月

菊 種類おびたゝしくあれどもこゝに略書ニ出

▲白花のぼんぎく

龍膽 花うす

つくぶき 蜀葵 花黄

駿河つくぶき 花おほきく大ニ

三七 花黄

たむらぎく ひくくして又丈高き一ぎく 花黄

ぼんでんぐさ 小槿花 花紅

白城のぎく 野粉團花 花白

花丁子 花うす黄 黒ーぐりニ

酔芙蓉 花はじめ白ー次第ニ紅ニ 八月ニ

四季咲うきぐさ

国立国会図書館　タイトル『茶席挿花集』　請求記号 特1-2866

ガラス使用

茶ノ花　花白　さんてハつや　心黄

残菊　花大きく　葉の様牡丹菊とよく

深窓類

・うるかや
・ねで
はこ　地錦
すゞお　薏苡仁
そよぎ　稼
もうぢ
うつぎ　楠樹ノ一枝
ねむのき　うつぎ

十月

水仙　暖気の土地ハ八月末より開く
▲玉玲瓏　ハきとせず

寒菊　花黄　葉深てよし
▲ハきとしてきく　花黄
▲白花もあり

乾すき妃　枝ぐるみおもく垂るもよし

さゞんくわ　茶梅　▲唐茶トもいふ　大りんノ花紅すゐ

つばき　山茶　枝れ葉ともに明す

・妙法　さゞんくわより花ふとく上品ノ花紅白二種あり
・光明　白花のおしべおゝくさやくさく御蓮ちかく候て佳品
・白玉
・岐門　花ハ上下ノ弁あり
・わび助　白又ハうすれあり　むかしんと

えんの木ノ花　檀　花ハ実ノやうにて垂る

そばう　榛　形えんノ木ノごとく上品あり

枇杷ノ花　花白くまかし

十月梅　花うすし

十月桜　花形ハ　ひがん桜ニ同し
▲ふぐんざくら

冬咲ノ長春　花さくらまさり　おもてそのさけり

国立国会図書館　タイトル『茶席挿花集』　請求記号 特1-2866

ガラス使用

冬牡丹　春の未世乃中花小冨一比
よりも好るつゝ
冬葵　初夏乃やくさ
冬石竹　日上
水前草　三七乃数多り　花黄
あろころ柳ノ蒼
千寿菊　みだすまに数知黄まふ仗
花黄大く八きく
吉祥草　琉球より来ル　花　稲ぬ
花ノそへ物　四季　けかれるへし
・ろろもどノ蒼
・ふしぬ　赤楊ノ種
・ふハとと　接骨木

・かう梅　常山の実乃落るあとゝ　梅ノ形ゝ

十一月　水仙　ろんきん　つゝきびハ　なゝばゝ
・冬至梅　花ゝ千切
・寒切梅　ゑ玉梅と日数をれも　ゆきおそし
江梅　花白くひとえ
・みつまさ　黄瑞香　花黄白
・ゑ葉　花四季ともふあり
・木瓜ノ蒼　つばみのいまだかたさより　用ゆ
琉球産ノ実ゑ瞿麦　あそまれり
・吉事草　花小白　秋みのもろなし

国立国会図書館　タイトル『茶席挿花集』　請求記号 特1-2866
ガラス使用

十二月 つぼみ 蕾

臘梅 花梅のやうな黄色

大臘梅 馨香梅 臘梅よりおほんにて香ろし

寒梅 花白

早梅 花白

わすれの蕾

白花の沈丁花 つねの沈丁ハ用ひず 白ハ除きやすまれど用

紅桂 花紅 正月までわり 此月花ひきたこの花ざまかへ入

迎年菊 花白 つねの中菊の形なり 正月までさく

十八

国立国会図書館　タイトル『茶席挿花集』 請求記号 特1-2866

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『茶席挿花集』 請求記号 特1-2866

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『茶席挿花集』 請求記号 特1-2866

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『茶席挿花集』 請求記号 特1-2866

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『茶席挿花集』 請求記号 特1-2866
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『茶席挿花集』　請求記号 特1-2866

ガラス使用

特1
2866

明治廿五年六月購求

附言

四季ノ花此書ニモレタルハ後篇ニ入レテ梓ニ上スベシ凡此二書ハ瓶花ノミナラズ植物好ミタマフ方或ハ画圖彫刻等ニ益アレバ其賢覧ヲ希フモノナリ

續茶席挿花集 全一冊

茶筵ふさわしき花を集め花のいろ〳〵ち方花乃紙妻等茶のゑあるを也まず外花の多く数色ひく出す

国立国会図書館　タイトル『茶席挿花集』　請求記号 特1-2866

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『茶席挿花集』　請求記号 特1-2866

ガラス使用